

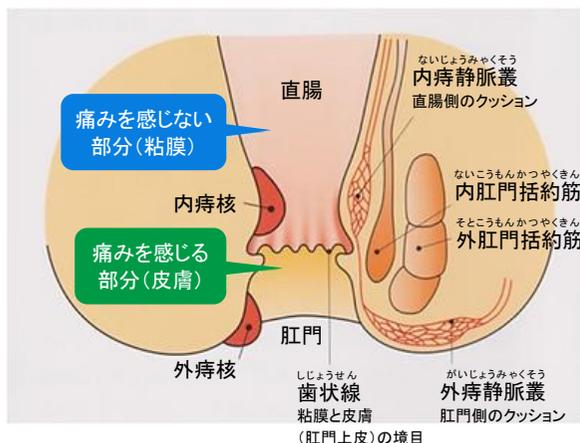
痔核

痔には、主にいぼ状の腫れができる「いぼ痔（痔核）」、肛門の皮膚が切れる「きれ痔（裂肛）」、肛門に膿のトンネルができる「痔ろう」の3種類があります。今回は痔核について解説します。

はじめに

皮膚と直腸のつなぎ目の、でこぼこした部分を歯状線しじょうせんと呼び、これより下の部分が肛門です。

また、肛門内側と出口付近には静脈叢じょうみゃくそうと呼ばれる毛細血管が集まった部分があり、それぞれ内痔静脈叢、外痔静脈叢といます。これら静脈叢は、クッションの役目をしています。歯状線より上の内痔静脈叢周辺には痛みを感じる知覚神経は通っていませんが、歯状線より下の外痔静脈叢には、知覚神経が通っています。



原因

便秘がちで排便の際に強いいきんだり、長時間座りっぱなしでいるなど、肛門に負担がかかると、静脈叢がうっ血して血行障害が起こり、静脈瘤となってその部分が腫れたものが痔核です。歯状線の内側にある内痔静脈叢の静脈瘤を内痔核、歯状線の外側にある外痔静脈叢の静脈瘤を外痔核といます。

内痔核

歯状線より上は知覚神経がないので、痛みはありません。静脈瘤なので、傷つくと出血するので、出血で気づくことが多いです。痔核が大きくなっていくと肛門から飛び出るようになります。

外痔核

知覚神経が通っているので、早くから痛みを感じます。痔核の中で血栓を作ると大きく腫れて痛みが強くなります。

治療

肛門から飛び出ない内痔核や外痔核はボラザG[®]や強力ポステリザン[®]といった軟膏や座薬を使います。

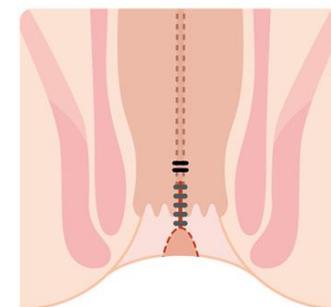
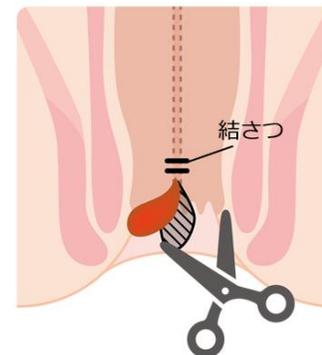
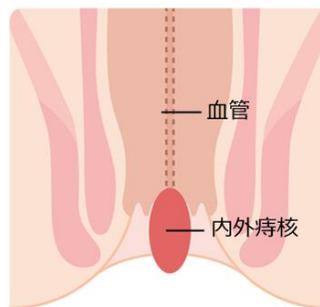
ALTA (ジオン[®]) 硬化療法

肛門から飛び出る内痔核が対象で、局所麻酔下に、内痔核周囲に ALTA (ジオン[®]) という硬化剤を注射し固めてしまうことによって、縮小・退縮させてしまう方法です。簡便ですが15%くらい再発があります。



痔核結さつ切除術

痔核が飛び出て、指で戻さないといけない状態、もしくは戻らない状態が手術の適応になります。出血しないよう痔核の上流の血管を糸でしばり（結さつ）、痔核組織を切除します。



血管とその下流にある痔核組織

血管を結さつし、痔核とその外側の皮膚を切除した部分を縫合